



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大福

上場会社名 イフジ産業株式会社
コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 徳夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬

TEL 092-938-4561

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,333	△5.9	625	0.7	637	1.6	320	△22.5
23年3月期第3四半期	8,858	28.2	621	△10.6	627	△8.9	413	9.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 318百万円 (△22.9%) 23年3月期第3四半期 412百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	57.71	—
23年3月期第3四半期	74.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,226	3,233	39.3
23年3月期	7,876	3,015	38.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,233百万円 23年3月期 3,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,890	△7.3	787	11.6	787	10.5	411	45.7	74.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	5,563,580 株	23年3月期	5,563,580 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,467 株	23年3月期	7,410 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	5,556,142 株	23年3月期3Q	5,556,191 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 追加情報	9
3. 補足情報	10
鶏卵関連事業の販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中で、欧州の債務危機やタイの洪水被害が発生し、企業の生産活動や輸出に影響が出るなど、厳しい状況のまま推移しました。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得の低迷により、個人消費が低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は鶏卵関連事業における販売数量の減少等により前年同期比 5.9%減の 8,333 百万円となりました。

損益面では、鶏卵関連事業において鶏卵相場の動向から原料の仕入体制の見直しを行ったことや生産体制の見直しを行ったことによるコスト削減効果により、営業利益は同 0.7%増の 625 百万円、経常利益は同 1.6%増の 637 百万円となりましたが、東日本大震災の災害による損失 57 百万円を特別損失に計上した結果、四半期純利益は同 22.5%減の 320 百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主に東日本大震災の影響により販売数量が前年同期比 8.6%減少しました。販売数量の減少等により、液卵売上高は前年同期比 3.8%減の 6,850 百万円となりました。また加工品売上高は同 1.3%減の 343 百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同 56.1%減の 172 百万円となりました。この結果、合計売上高は同 6.3%減の 7,365 百万円となりました。

損益面につきましては、販売数量や鶏卵相場の動向から原料の仕入体制の見直しを行ったことや生産体制の見直しを行ったことにより、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比 11.0%増の 534 百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントにおきましては、東日本大震災の影響によりカップめんや即席めんの需要が増加したことから、主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が増加したものの前年に比べ新規商品の採用が減少したことから、売上高は前年同期比 3.3%減の 952 百万円となりました。

損益面につきましては、上記のように売上高が減少したことや、工場の改修工事、品質向上のための設備投資を行ったこと等により、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比 37.2%減の 83 百万円となりました。

③その他

主に不動産賃貸業を営んでおり、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比 4.2%減の 14 百万円、セグメント利益（営業利益）は同 22.9%増の 7 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、8,226 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 349 百万円増加しました。

流動資産は、4,077 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 528 百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加 336 百万円、商品及び製品の増加 379 百万円、原材料及び貯蔵品の増加 74 百万円、現金及び預金の減少 79 百万円、未収還付法人税等の減少 130 百万円等によるものであります。

固定資産は 4,149 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 179 百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少 80 百万円、機械装置及び運搬具の減少 83 百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,992 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 131 百万円増加しました。

流動負債は 2,891 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 352 百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加 166 百万円、未払法人税等の増加 177 百万円、短期借入金の増加 35 百万円、災害損失引当金の減少 97 百万円等によるものであります。

固定負債は 2,101 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 220 百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少 192 百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,233百万円となり、前連結会計年度末に比べて218百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加220百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の38.3%から39.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年1月16日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052	973
受取手形及び売掛金	1,645	1,981
商品及び製品	317	697
仕掛品	26	30
原材料及び貯蔵品	256	331
未収還付法人税等	130	—
繰延税金資産	64	50
その他	70	31
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	3,548	4,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,352	1,271
機械装置及び運搬具（純額）	473	390
土地	2,197	2,212
その他（純額）	22	18
有形固定資産合計	4,045	3,892
無形固定資産	22	16
投資その他の資産		
投資有価証券	39	37
繰延税金資産	196	171
その他	55	60
貸倒引当金	△31	△29
投資その他の資産合計	260	239
固定資産合計	4,328	4,149
資産合計	7,876	8,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540	706
短期借入金	1,312	1,347
未払法人税等	0	177
未払消費税等	6	5
賞与引当金	65	33
役員賞与引当金	—	17
災害損失引当金	261	163
その他	353	438
流動負債合計	2,538	2,891

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	1,652	1,460
役員退職慰労引当金	523	517
負ののれん	90	72
繰延税金負債	32	28
その他	22	22
固定負債合計	2,322	2,101
負債合計	4,861	4,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,216	2,436
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,034	3,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	△20
その他の包括利益累計額合計	△18	△20
純資産合計	3,015	3,233
負債純資産合計	7,876	8,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,858	8,333
売上原価	7,107	6,606
売上総利益	1,751	1,726
販売費及び一般管理費	1,129	1,100
営業利益	621	625
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	5	3
負ののれん償却額	18	18
その他	7	10
営業外収益合計	32	32
営業外費用		
支払利息	23	21
その他	2	0
営業外費用合計	26	21
経常利益	627	637
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	15	—
特別利益合計	15	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	2	—
役員退職慰労引当金繰入額	16	—
災害による損失	—	57
特別損失合計	19	57
税金等調整前四半期純利益	622	579
法人税、住民税及び事業税	170	222
法人税等調整額	38	36
法人税等合計	209	259
少数株主損益調整前四半期純利益	413	320
少数株主利益	—	—
四半期純利益	413	320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	413	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△2
その他の包括利益合計	△1	△2
四半期包括利益	412	318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	412	318
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,857	985	8,843	15	8,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,857	985	8,843	15	8,858
セグメント利益	481	133	614	6	621

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	614
「その他」の区分の利益	6
四半期連結損益計算書の営業利益	621

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,365	952	8,318	14	8,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,365	952	8,318	14	8,333
セグメント利益	534	83	617	7	625

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	617
「その他」の区分の利益	7
四半期連結損益計算書の営業利益	625

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 補足情報

鶏卵関連事業の販売実績

(単位：百万円)

期別 区分	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		比較増減 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
生液卵	6,181	78.7%	5,854	79.5%	△327	△5.3%
凍結卵	936	11.9	996	13.5	59	6.3
液卵計	7,118	90.6	6,850	93.0	△267	△3.8
卵加工品	348	4.4	343	4.7	△4	△1.3
その他	391	5.0	172	2.3	△219	△56.1
合計	7,857	100.0	7,365	100.0	△491	△6.3